

木材ジャーナル 名古屋・せぶ

令和3年12月号 No.175

名古屋木材組合
名古屋港木材産業協同組合

令和3年度「木の日」 名古屋市への要望活動実施

10月12日(火)に行った「木の日」(10月8日)の県庁、県議会への要望活動に続いて、10月29日(金)、名古屋市役所に対し、愛知県木材利用推進協議会(西垣洋一会長)構成団体の各代表等16名が参加して、木材利用推進に関する要望活動を行いました。

要望項目〔市〕

- 1 市が整備される公共施設、公共工事における愛知県産木材を始めとする木材の積極的な利用の推進
- 2 アジア大会跡地整備における木造施設・木製品の採用
- 3 森林環境譲与税を活用した木材利用の推進
- 4 民間における非住宅施設の木造・木質化の推進
- 5 木育の推進と、学童保育所等の木造・木質化の推進



(名古屋市 中田英雄副市長)

無災害 みんなで迎える 明るい新年 ～令和3年度職場の年末安全衛生推進運動～

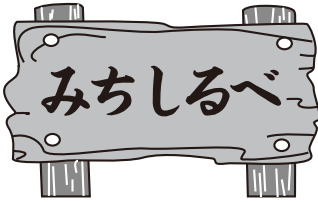
愛知県内の死亡又は休業4日以上の労働災害は長期的には減少傾向にありますが、平成28年以降は増加傾向であり、令和2年は死傷災害7,461人(平成28年比16.3%増)となっています。また、本年8月末現在における死傷災害は4,496人(令和2年同期比12.7%増)、死亡災害17人(令和2年同期比32.0%減)となっており、死亡災害は減少しているものの、死傷災害の増加に歯止めが掛からない状況となっています。

労働災害を防止するためには、現場や作業の実態と関わる危なさを把握し、事業者が「基本」を決め、労働者が定められた基本動作を守る、日々の「管理」が必要です。

愛知労働局、管下労働基準監督署は、年末の慌ただしい時期を迎えるにあたり、働く仲間が誰一人ケガをすることなく明るい新年を迎えられるよう、本来の「管理」に今一度立ち戻れることを提唱し、「令和3年度職場の年末安全衛生推進運動」を実施します。

- 1 推進スローガン:「無災害 みんなで迎える 明るい新年」
- 2 実施期間: 令和3年12月1日から令和3年12月31日まで
- 3 主唱者及び協賛社の実施事項
 - (1) 局署及び労働災害防止団体の合同パトロール
 - (2) 本運動の周知による管内事業場の安全衛生意識の啓発
- 4 事業場における実施事項
 - (1) 事業者の実施事項
 - ア)現場や作業の実態と関わる危なさの把握
 - イ)守るべき「基本」を定め労働者への徹底を図る
 - (2) 労働者の実施事項
 - ア)定められた基本動作の遵守

“いま、木に本気” ぐらしに活かそう木の良さを



Withコロナ時代を生き抜く - 素晴らしい人生をもたらす羅針盤!! 人生を成功(幸せ)に導く様々な方程式

名古屋木材組合

組合長 西 垣 洋 一

■ 私が学んだ人生を成功(幸せ)に導く様々な方程式

- ・ **A(成功) = X(仕事) + Y(遊び) + Z(沈黙)** [**アインシュタイン**]
 アインシュタインにとっての「沈黙」とは、みずからを沈黙の中に置き、頭のなかで創造的に実験をする「思考実験」のこと。相対性理論もここから生まれた。
- ・ **人生・仕事の結果 = 考え方 × 熱意 × 能力** [**稲森和夫**]
 能力と熱意は、それぞれ0点から100点。考え方とは生きる姿勢でありマイナス100点からプラス100点。3つの要素の積である人生・仕事の結果は、考え方次第で180度変わる。
- ・ **成功 = (情熱 + 人間力 + 仕事力) × 運** [**新 将命**]
(パッション) (マインド) (スキル) (ラック)
 四つの要素の重要度は、運・情熱・人間力・仕事力の順番です。自分の力ではどうすることもできない「宿命」と違い、「運」は自分がその気になれば運んでくることができるもの。「宿命」はマネジメント不可能であるのに対し、「運」はマネジメント可能。
- ・ **仕事の成功 = 志 × 意欲 × 才能 × 魅力** [**岬 龍一郎**]
(大志) (情熱・熱意) (努力) (人徳・人柄)
 仕事を達成するには、事を成し遂げようとする意欲が第1であり、ついで才能とそれを向上させる努力、更には周囲の協力を得られる人間的魅力がなければならない。しかし、これらの全てのことも「志」がなければ大したものにならない。故に「志」が最重要なのです。

誰もがこのコロナ禍の時代をよりよく生きたいと思い、一度きりの人生を自分らしく有意義な素晴らしいものにしたいと思っています。では、どうすればいいのか? 「努力以外はない」ということになるのですが、これだけでは身も蓋もありません。成功への第1歩は、自分なりの人生の羅針盤、成功の方程式を持つことです。

その為にはどう「仕事」に向き合うか、先人・先哲の教えを「学ぶ」ことです。芸事に「守・破・離」の教えがあります。まずは基礎を守って、やがてそれを破り離れて自分流のオリジナルを作っていくことです。「成功の方程式」も自らの手で作り出し、試行錯誤しながら掴み取る努力が必要です。「運」や「志」(情熱・熱意)などがKeyワードとなります。又ここでいう「成功」とは、出世とか名誉のような客観的なものではなく限りなく主観的なものです。つまり人間としてどう「幸せ」になるかということです。

「make a difference」- この世に生を受け、何十年か生きて死んでいくまでの間に、世の中を変えるために何か役に立つことで自分が生きてきた証を残す。人生において「一隅を照らす」ことです。

■ [最善観の教え] - 森信三『修身教授録』

“ わが身の上に起こる事柄は、そのすべてが、この私にとって絶対必然であるとともに、またこの私にとって、最善なはずだというわけです。それ故われわれは、それに対していっさいこれを拒まず、素直にそのいっさいを受け入れて、自己に与えられた全運命を感謝して受け取って、天を怨まず人を咎めず、否、怨んだり咎めないばかりか、楽天知命、すなわち天命を信じるが故に、天命を楽しむという境涯なのです。 ”

(一部抜粋)

何ごとが起きようとも、人生を肯定的にとらえ、愚痴を言わず、運命を呪わず、人を咎めず、「すべて善きこと」として受けて立ち、積極的に生きよと先生は仰っています。これされ自覚しておけば、逆境など人生の肥やしとして悠然と対処できると説かれます。人生の山坂を超え、挫折を味わい、「まさかの坂」の辛酸に合った時、「最善観の教え」が私達に立ち向かう勇気を与えてくれます。

長い人生においては、現在の「コロナ禍」や「ウッドショック」のような想定外の出来事に会います。自分なりの「成功の方程式」が通じず、今まで積み上げて来たものが、崩れ落ちるかのようにはさ感じます。私はそんな時、座右の名である森信三先生のこの「最善観」の教えを思い起こします。

本年はコロナ禍の中、組合としての活動もままならない状況が続きました。来年はWithコロナ時代を、皆様と共に、木材業界の発展のため、1歩1歩進んで参りたいと思いますので、ご協力の程お願い申し上げます。

◆ 合縁木縁 ◆

「 木の日のイベント 」

名古屋木材青壮年会では、一年に一度のビッグイベント【木の日の事業・親子木工教室】があります。

今年は10/9・10に農業文化園・戸田川緑地公園の秋のイベントが開催され、そこに参加しました。私は青壮年会に入会し2年となりますが、新型コロナウイルスの影響で昨年とはともに活動できず、今年は研究企画委員会の副委員長として打合せを重ねてきました。

木の日の事業は、【木育】への取組みが目的です。【木育】とは子供から大人までを対象に木材や木製品との触れ合いを通じて木材への親しみや木の文化への理解を深めて木材の良さや利用の意義を学んでもらうことです。

今回の親子木工教室では、丸太切り体験・小さな家作り体験・木工キット販売の3つの企画を行いました。

丸太切り体験は、ノコギリでひたすらカットするため、大人は汗だくで大変ですが、子供たちも頑張ってカットし楽しそうに体験していました。

小さな家作り体験は、子供たちに家作りを体験してもらうために、土台・柱・梁をプレカットし、自分たちで組立て、木と触れ合ってもらうようにしました。

木工キット制作は、椅子や木琴・本棚などを参加した親子で金槌を使用して作ります。私も実際作ってみました。釘をまっすぐ打つのが案外難しく、自分の不器用さを痛感しました。

今回のイベントに参加して普段関わりのない木材青壮年会メンバーともコミュニケーションが取れ、今後の仕事にもいかせれば良いと感じます。また木材業界自体は、若手が少ないため、同世代で盛り上げていきたいとも思います。

来年も木の日のイベントは開催予定ですので、皆さま、ぜひ一度遊びに来てください。

次回は、住友林業株式会社 村上 ジェームス氏にお願いします。

←←←←← 木場すずめ ←←←←←

『 マンガの思い出 』

日本のマンガの海外での販売は、この10年間で急激に成長しているそうです。日本のマンガはストーリー・ビジュアル共にレベルが高く、それが海外のマーケットでも評価されているようです。

私がマンガを読み始めたのは小学校3年生くらいからだ記憶しています。当時、ドラえもんが連載されていたコロコロコミックを見て「こんな分厚い本が読めるのだろうか」と怖気づいていたことをよく覚えています。大人になるまでの期間、私の読書体験の大半はマンガでした。祖父に連れられて書店に行くと「本なら何冊でも買ってやる。マンガでもいい」と言ってくれて、大量にマンガを購入して読み漁っていました。初めの頃は藤子不二雄にのめりこんで、当時販売されている作品をほぼすべて読みました。藤子F不二雄の「SF短編」や「異色短編」といわれるシリーズがあるのですが、これは今読んでも十分に面白く、未読の方はぜひお試しください。「モジャ公」も大人でも楽しめるちょっとブラックなSFファンタジーとしておススメです。

中学生くらいからは手塚治虫の作品を片端から読んでいました。「ブラックジャック」や「火の鳥」は中学生でも理解できる内容で、哲学的なテーマに、子供ながらに深く考えさせられる素晴らしい作品群です。手塚作品には明らかに子供向けではない（ブラック、またはシニカルな）ものも多く存在します。最近映画化された「MW」や「ばらばら」などがそれに当たると思いますが、大人になった今だからこそ分かる魅力に溢れた作品です。個人的におススメしたいのは「鳥人体系」という作品で、擬人化された鳥の世界を描き、現実世界における様々な問題を浮き彫りにさせるというものです。

数十年経った今でも楽しませてくれる手塚治虫や藤子不二雄の作品は日本の宝として、これからも受け継がれていって欲しいと思います。皆様も書店に足を運んだり、電子書籍を利用したりしてマンガの世界を楽しんでみてはいかがでしょうか。

イルミネーション Tobishima Lights 開催中

令和3年11月12日金曜日に17:00から飛島村役場南側通路にて飛島村イルミネーション「Tobishima Lights」点灯式が行われました。

名古屋西部臨海地帯企業連絡協議会を代表して服部伸一会長が点灯式に出席しました。企業連加盟の会社より多くの協賛をいただき盛大なイルミネーションが点灯されました。村内事業者へのコロナショックを乗り越える「希望の光」として、また「医療従事者への支援として」企画されたこのイルミネーションは50mも続くトンネルに電飾が装飾され大変綺麗で幻想的です。

是非一度足を運んで飛島村イルミネーションを見学してください。

点灯時期：2021.11/12(金)～2021.12/26(日)

点灯時間：17:00～21:00

会場：飛島村役場南側通路



安全衛生パトロール実施のご案内

令和3年11月19日金曜日に名古屋港木材産業協同組合 産業安全衛生委員会による安全衛生パトロールが行われました。当委員会の石黒委員長は「コロナも少し落ち着きこれから企業は繁忙期を迎えますが、安全・健康に留意していただき業務を行ってください」と挨拶されました。津島労働基準監督署の岩瀬安全衛生課長を迎え、細江木材株式会社・フルハシEPO株式会社愛知第二工場の二社をパトロールし労働基準監督署・参加委員の皆様による講評が行われました。

☆☆☆ 西部臨海安全ニュース ☆☆☆

触媒部品が狙われています！

最近、触媒コンバーターが目的と思われるプリウスの盗難被害が急増しています。触媒コンバーターとは、車のマフラー部分の排気浄化装置のことで、プラチナやパラジウム等の高価な希少金属が含まれています。

現在、世界的にパラジウムの需要が高まっていて、価格は金よりも高値で取引されています。部品欲しさに車を盗む犯人がいるので、警報機やブレーキペダルロック等の複数の防犯対策を組み合わせ、被害防止に努めてください。



蟹江警察署 生活安全課 生活安全係 TEL.0567-95-0110

◆ 広告コーナー



より美しく健康な住まいづくり

省令準耐火適合商品

CORNER BOARD
コーナーボード

まわやか
せうこうボード FCボード

チヨダウーテ株式会社
中部支店
TEL059-365-5211 FAX059-364-5219

人と未来のために高い技術を誇るプレカットシステムのトップメーカー

MIYAGAWA®

宮川工機株式会社

〒441-8019 豊橋市花田町字中ノ坪53

TEL 0532-31-1251 FAX 0532-34-1956

URL <https://www.miyagawakoki.co.jp/>

発行 名古屋木材組合

発行者 西垣洋一

〒460-0017 名古屋市中区松原2-18-10

TEL <052> 331-9386

FAX <052> 322-3376

【編集】名古屋木材組合広報委員会

発行 名古屋港木材産業協同組合

発行者 服部伸一

〒490-1444 海部郡飛島村木場1-74

TEL <0567> 57-2017

FAX <0567> 57-2018

【編集】名古屋港木材産業協同組合広報委員会